



勝浦市太極拳サークル

美心会だより

太極拳練功会のふるさと台湾を訪ねて（連載5）

旅行日程も3日目、時間の経つのが早い。美心会の皆が練習を始める30分前、中正記念堂（蒋介石の功績を讃えるために創建された）の大きな扉が開き始め、中から大きな蒋介石の像と衛兵が顔を出した。



中正記念堂（写真右）と蒋介石石像

蒋介石と切り離せないのは故宮博物院。故宮博物院は土曜日とあって大変な混雑。



観光客の切れ目をぬって（故宮博物院前で）

ここで特に有名なのは、「翠玉白菜」と「肉型石」（今年の6月に東京で公開される予定）。台北の故宮博物院の工芸美術品は、北京の紫禁城や中央博物院から持ち出した文物と独自の収蔵品。すべて見るのに百年必要と言われている。



故宮博物院の秘宝 翠玉白菜と肉型石

15日に帰国予定者が定男先生と成増会の2名。今朝のテレビニュースを見ると、羽田空港は積雪で大混乱。合間を見ては、航空会社と頻りに連絡を取り、遅延か欠航かで心ここに在らずの状況。松山発 午後4時の便が午後8時出発に変更、とりあえず3名は別れて空港へ。

午後は「千と千尋の神隠し」のモデルとなった九份へと向かったが、時間に余裕があったので十分に寄り道。十分では阿媽的天燈（熱気球の原理を用いた大型ランタン）に願い事を書いて飛ばすと、願いが叶うというので挑戦した。



美心会のさらなる発展を祈念して（隣には孫の名が）

願いが多いのは「家族（本人を含めて）の健康」「孫の健やかな成長」だ。ただ「太極拳の上達」と書いた人は??「世界平和」と書いたのは門屋さん（さすが、視点が違う）。中には「宝くじが当たりますように！」と、しっかり書いた人も（当たりますよ、連番で10枚買くと4等300円が!）。